

# 活動報告(1)

平成17年12月17日、薬局の職員が参加して、自動体外式除細動器（AED）を使った救命講習を受講しました。

以下に講習会の中で教えていただいたポイントをご紹介します。



△心肺蘇生法の受講風景

## 『救命の連鎖』に参加しよう

～救命の連鎖とは～

大切な命を守るためには、「救命の連鎖」と言われている行動をすばやく・確実に行うことが必要です。（左下の(1)～(4)をご参照下さい。）

私達も積極的に連鎖に加わることが出来るように、日々の心掛けを大切にしております。

### 救命の4つの連鎖

- (1) 迅速な**119番**
- (2) 迅速な**心肺蘇生**（人工呼吸・心マッサージ）
- (3) 迅速な**除細動**（AED）の使用
- (4)（専門家による）**二次救命処置**

この連鎖をすばやく、確実に行うことで、命が助かる可能性が高くなります。

「**自分の家族は自分で守る！**」  
が出発点となります。

### 具体的な行動

- (1)意識の有無の確認。意識が無ければ、
- (2)人を呼び、救急車を呼んでもらい、
- (3)気道の確保をおこなう。
- (4)呼吸の有無を調べる。呼吸が無ければ、
- (5)人工呼吸を2回おこなう。
- (6)心臓の拍動状態を調べる。心停止ならば、
- (7)AEDを装着する。装着までは、心マッサージ15回、人工呼吸2回を繰り返す。

講座では、城東消防署員のご指導のもと、各薬局の職員が実際に応急手当を体験しました。

## AEDをもっと知ろう

心臓が止まってしまうような不整脈（心室細動）を正常に戻す

には、除細動器(AED)を用いた電気式除細動が有効だそうです。

AEDは自動的にコンピュータで心電図の解析を行い、除細動を行う機器のことです。

平成16年7月からは一般の人でも講義を受ければAEDを使用することが出来るようになりました。



△コンパクトで持ち運びしやすい大きさです

### 使い方はとても簡単

電源を入れ、付属のパッドを装着し、AEDから流れてくる音声に従ってボタン操作をするだけです。

AEDは現在、病院のほかにも、アルヴェ・秋田空港・ザブーンなどにも設置されています。

今後はもっと増えてくると思われます。

アメリカでは消火器感覚で設置されている、とても身近な機器です。使用方法はぜひマスターしておきたいと感じました。



△除細動の体験受講  
電気を流すためのパッドを貼り付けているところです

1度の受講だけでは完全ではないと思いますが、日ごろから救命の連鎖の一端を担うことが出来るように努めてまいりたいと思います。

「優しく声を掛けてあげることも立派な応急手当です」と教えていただいた救急救命士の方の言葉がとても印象に残りました。



△講義の受講風景  
みな真剣です

### 受講を希望される方は消防署へ

誰でも無料で受講することが出来ます。詳しくは最寄の消防署までご連絡をお願いします。

当社が講習会を依頼した秋田市消防署の連絡先は以下です。



終了証を受け取ることが出来ました。

秋田市消防署  
電話018-823-4000  
ホームページ

<http://www.city.akita.akita.jp/city/fr/>

「救命技能の維持向上をはかるため、おおむね2年毎に講習を受けることをお勧めします。」と裏に書かれています。